



## 丹波 郁恵

### 勤務先：

(株)ドーコン 技術情報部  
〒004-8585 札幌市厚別区  
厚別中央1条5丁目1番4号

TEL 011-801-1590

FAX 011-801-1591

E-mail: it1487@docon.jp

専門：建設部門

### 1. 自己PR

千歳市で生まれ、小中学校と千歳で過ごしました。高校は苫小牧工業高等専門学校土木工学科へ入学し、5年間土木一般について学びました。同学校卒業後、より深い知識を得るため、北見工業大学へ進学し、大学院後期課程を修了するまでの7年間を北見で過ごしました。大学では、当初から希望していた橋梁研究室に在籍し、橋梁の維持管理に関する研究をしていました。同大学修了後は、株式会社ドーコンに入社し、技術情報部事業開発室に配属となり、アセットマネジメント研究員として社会人をスタートさせ、今年で2年目になります。

今では、土木構造物は地域に氾濫し、維持管理の視点からかなり煩雑な状況にあることは周知の通りです。今後の社会形成に重要な役割を担っているこれらの構造物は、社会資本として適切にマネジメントしていくことが、今後の日本に必要不可欠であると考えます。このことを広く社会に伝えるとともに、適切なマネジメント手法を提案し、より快適で安全な公共施設を提供すること、これに少しでも貢献できる技術者を目指しています。

### 2. 受験体験

周知の通り、試験制度の改定により、技術士第一次試験は第二次試験を受験するための必須事項となりました。北見工業大学における技術士試験を推

進・支援する活動は大変活発であり、私も学生時代に受験を試みましたが、技術者としての自覚が薄く、危機感も感じないまま、軽い気持ちで受けた結果、2度の失敗を経験しました。

その後は、少し諦めの感もありましたが、入社してから技術者としての自分の置かれている状況や立場を自覚する機会を与えていただき、受験するに当たっての勉強を始める決心をしました。社内でもまた精力的に受験者を支援する活動があり、講習会や模擬試験など、恵まれた環境下で試験勉強に取り組むことができましたと思います。今回の挑戦でようやく合格の朗報が届きましたが、自分自身でも正直少し驚きました。試験内容は、これまで学んだことのない分野もあること、出題分野が広いこともあり、たいへん難しかったです。試験を通して取組んだ勉強や3度の受験は、今後の自分にとって非常に役立つものと考えています。

### 3. 今後に向けて

今回、第一次試験に合格できたとは言え、技術士を受験するための1資格を得たばかりであり、技術者として、また社会人としての第一歩を踏み出したばかりと考えています。今後は、周りの居られる諸先輩方のご指導を仰ぐとともに、大学で学んだことを活かしつつ、一步一步着実に社会に貢献できる技術者を目指し努力していきたいと思っています。

今後は、気持ちを2次試験に向け、将来を見据えた形で勉強に取り組んでいきたいと思っています。

### 4. 最後に

試験を受験するに当たって、ご支援を頂いた多くの諸先輩方に、この場をお借りして感謝申し上げます。また、今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう、宜しく願いいたします。

最後になりましたが、このような貴重な機会をいただきましたことを大変光栄に思っております。ここに感謝を申し上げます。